特別会計

１　国民健康保険事業会計

当年度は、歳入決算額15,151,975千円に対し、歳出決算額14,845,316千円で、歳入歳出差引額は、306,659千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている。

前年度に比べ歳入で509,497千円(△3.3％)、歳出で740,711千円(△4.8％)それぞれ減少している。これは主に、被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、歳出では、保険給付費で263,842千円（△2.4％）、歳入では、その財源となる県支出金で243,625千円（△2.2％）それぞれ減少したことによるものである。このほか、歳入では、繰入金で153,097千円（△12.0％）、繰越金で103,129千円（△57.8％）、歳出では、国民健康保険事業費納付金で401,930千円（△9.5％）それぞれ減少している。

国民健康保険税の収納状況は、前年度に比べ収入済額で28,821千円(△0.9％)、収入未済額で55,028千円(△6.0％)それぞれ減少している。また、収納率は77.1％で、前年度に比べ1.1ポイント上昇している。不納欠損額は36,973千円で、前年度に比べ11,339千円(△23.5％)減少している。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は1,500,000千円であるが、借入れはなかった。

　　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （単位：千円・％）

(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・％)



国民健康保険税収納状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

国民健康保険税と保険給付費等の比較



保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (単位：千円・件)



２　荻布奨学金事業会計

当年度は、歳入歳出決算額とも1,827千円の同額である。

歳入のうち、繰入金1,319千円は荻布奨学基金及び一般会計からの繰入れで、前年度に比べ34千円(2.6％)増加している。

奨学金は、17人の高校生及び高専生に対し1,632千円支給されている。

歳入決算状況 　　 　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



奨学金支給状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・人)



３　駐車場事業会計

当年度は、歳入歳出決算額とも289,168千円の同額である。

歳入のうち、事業収入は150,110千円で、前年度に比べ63,572千円(△29.8％)減少している。これは主に、御旅屋駐車場で32,246千円、高岡中央駐車場で21,710千円それぞれ減少したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



御旅屋駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。



高岡中央駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。



高岡駐車場利用状況

　(注)（　）内数字は、合計台数の内数。なお、高岡駐車場は令和元年９月末で休止。



翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、繰越明許費１件である。

繰越明許費の理由は、国の補正予算を活用した事業において、年度内の完了が困難となったことによるものである。

繰越明許費の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）



４　工業団地造成事業会計

当年度は、歳入決算額657,729千円に対し、歳出決算額652,793千円で、歳入歳出差引額4,936千円は、翌年度へ繰り越すべき財源として繰り越されている。

前年度に比べ歳入で1,465,019千円（△69.0％）、歳出で1,469,955千円(△69.2％)それぞれ減少している。これは主に、歳入では、工業団地の分譲に伴う財産収入で1,316,234千円(△66.9％)、歳出では、公債費で1,351,833千円（△85.2％）それぞれ減少したことによるものである。

なお、当年度で大滝工業団地及びＩＣパーク高岡のすべての区画の分譲が完了となり、工業団地の分譲に伴う財産収入を財源として市債の繰上償還が行われたことで、当年度末をもって市債の返済が完了している。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



市債現在高の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



翌年度繰越事業

当年度から翌年度へ繰り越された事業は、繰越明許費１件である。

繰越明許費の理由は、ＩＣパーク高岡の全区画の分譲先決定を踏まえて発注する工事について、十分な工期を確保するため、翌年度へ繰り越されたものである。

繰越明許費の内容　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）



５　介護保険事業会計

当年度は、歳入決算額18,586,675千円に対し、歳出決算額18,504,505千円で、歳入歳出差引額は、82,170千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で364,721千円(2.0％)、歳出で328,002千円(1.8％)それぞれ増加している。これは主に、歳入では、国庫支出金で153,565千円(3.7％)、支払基金交付金で103,883千円(2.2％)それぞれ増加したことによるものである。歳出では、介護サービスを利用した際に支払われる保険給付費で371,325千円(2.2％)増加したことによるものである。

なお、予算に定められた一時借入金の借入れの最高額は300,000千円であるが、借入れはなかった。

　歳出予算の流用は、予算の定めに従って適正に処理されていた。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



第１号被保険者の介護保険料収納状況　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



(注)「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

保険給付費の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・件)



６　後期高齢者医療事業会計

当年度は、歳入決算額2,606,806千円に対し、歳出決算額2,595,201千円で、歳入歳出

差引額は、11,605千円の黒字であり、全額翌年度へ繰り越されている｡

前年度に比べ歳入で133,653千円（5.4％）、歳出で131,781千円（5.3％）それぞれ増加している。これは主に、被保険者数の増加などに伴い、歳入では、後期高齢者医療保険料で121,876千円（6.2％）、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金で138,389千円（5.8％）それぞれ増加したことによるものである。

歳入決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



（注）「収入済額」欄中の（　）内は、「収入済額」に含まれる還付未了額である。

歳出決算状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)



歳入歳出差引額　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：千円・％)

